

1 大津の四季を考える

大津市役所にて、大津市新庁舎整備基本設計市民ワークショップを開催しました。

基本計画ワークショップで出た方針の1つ「大津愛を育む機能」を実践するために、大津の四季について考えることからスタートしました。大津の四季の「残すとよいこと／変わるとよいこと」を書き出し、新庁舎で活かすことができる大津の魅力や課題を可視化しました。

ワーク内容

- ①市長あいさつ
- ②基本計画ワークショップのふりかえり
- ③新庁舎プラン説明
- ④大津の「残すとよいこと／変わるとよいこと」
を付箋に書き出す
- ⑤付箋を季節、カテゴリごとに分類する
- ⑥発表



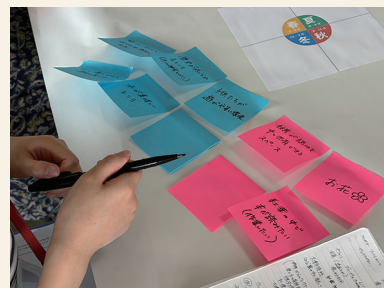
大津市あいさつ・ワークショップ説明



設計者より新庁舎のプラン説明



グループでアイズブレイク



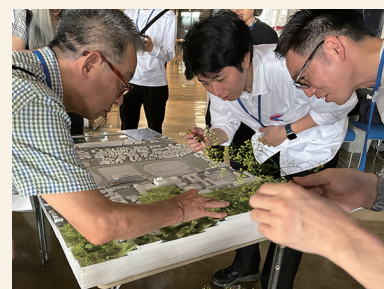
青と赤の付箋に書いて共有



書いた付箋を分析・分類



グループごとに発表



新庁舎の模型に植樹

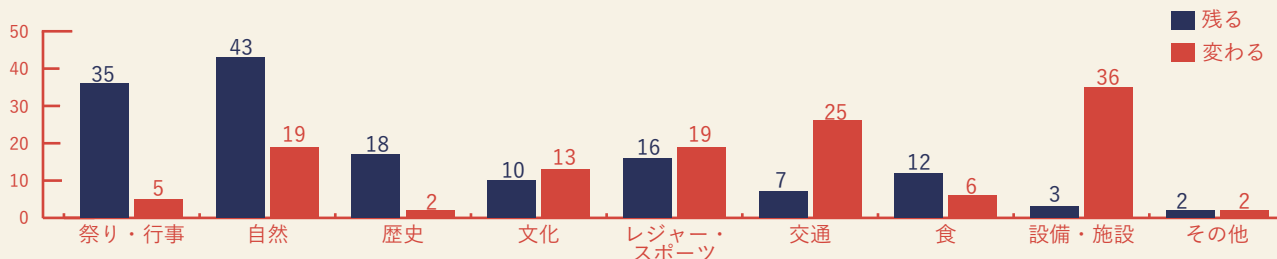
ワークショップ結果

大津の『残るとよいこと』『変わるとよいこと』

■ 残るとよいこと 146 個
■ 変わるとよいこと 127 個

合計 273 個

* 祭り・行事、自然、歴史、文化、レジャー・スポーツ、交通、食、設備・施設、その他の9つの項目で付箋の内容を分類



グループ分析

各グループの付箋の抜粋と、どのような話し合いがなされたのかをまとめています。

* 当日の編成の都合上 A グループはありません。

B



残る 大津祭 / 近江八景 / 湖水 / 山並み / 大津絵 / 石山寺

変わる 交通の便 / 集まる場所 / 外への発信力 / 南北に長く統一感がない

I ターンの方からは客観的な視点での意見が出された。自然や歴史など魅力が多い反面、大津京に立ち寄る機会が少ない。また、大津京エリアの魅力が十分に伝わっていないことが課題として挙げられ、新庁舎計画による改善に期待。

C



残る 花火 / ビワマス / やぶさめ / ヨシ原 / 三井寺の桜

変わる ビワコ虫 / 自習スペース / 気軽に友達と会える場所 / 歩道を整備 / 湖の藻

多地域多世代ならではの意見交換がみられ、大津らしさを若い世代へどう継承していくか、という視点が印象的。学生の自習スペースなど、新庁舎を日常的に使用し交流を促すようなアイデアが出た。

D



残る 山王祭 / 神社やお寺 / 雪景色 / 東海道の街並み

変わる 自転車優先 / 琵琶湖の水質 / シャッター商店街 / 市役所の通路が狭い

魅力的な土地や自然をどう守っていくか、商店街の衰退など、地元の人だからこそわかる現状について話し合っていた。現庁舎の改善してほしい設備について具体的に多く出された。

E



残る 献燈祭 / 郷土食 / 石山夜市 / 地藏盆 / 西教寺

変わる 夏の子供の遊び場が少ない / 気軽に使えるホールや図書館も欲しい

地域の課題に対して具体的な場の提案にまで話が及んだところが印象的。「ちょっと大きい公民館」のような場を新庁舎で作りたいというアイデアが発表され、今後の良いキーワードになりそう。

F



残る 比叡山の桜紅葉 / 船幸祭 / 仰木の棚田 / 鮎 / ゆめっこ

変わる 石山商店街 / 避難場 / 161号線が混む / 食事に行くと場所が少ない

商店街の活性化や交通面の課題の意見が出された。また防災の観点から、子どもの日常利用の施設と避難場所をつなげ、有事に備えるアイデアが挙げられた。既存施設も活用し、まち全体をより良くしていくという意向が示された。

G



残る 湖族まつり / 災害が少ない / 逢坂山 / 長等山 / 良い店

変わる 公共施設が古い / 湖西側の自転車道 / 芝生や噴水がある大きい広場が少ない

良いお店や働く場所など、日常生活で感じていることを共有し合いながら、施設や環境に関する意見が出た。交通面の改善に加え、公共施設の老朽化も話題となり、今後のワークショップで新庁舎整備とあわせた改善につながる議論に期待。

H



残る なぎさ公園 / 天孫神社の桜 / 小野や坂本の文化財等

変わる 大津百町の観光化促進 / 屋内の遊び場 / 観光客も立ち寄れるような案内

大津の魅力だけでなく、子供が過ごす場所についての課題が浮き彫りになった。もっと観光に来てほしいという、人を呼び込む視点での意見も。広場に大屋根がほしいといった、新庁舎と公園の接続を期待したアイデアも出た。

全体のまとめ

全チーム通じて、歴史、自然、文化で「残るとよいこと」の青い付箋が多く出されました。一方で、交通の課題や商店街の衰退、日常的に利用できる施設については「変わるとよいこと」の赤い付箋が目立ちました。この新庁舎建設を機に、未来の大津のための意見交換ができたのではないかと思います。

次回は、このたくさんの意見から、新庁舎で活かせることを探っていきます。「残るとよいこと」はそのまま活かし、「変わるとよいこと」から地域の課題解決に繋がる新庁舎の活用アイデアを考えます。新庁舎のにぎわいを、参加者の皆さんと考えていきたいと思っています。

次回予告!

9/5(土)

10:00~12:00

2

四季のにぎわいを考える

第1回目を出した、大津の四季の『残るとよいこと / 変わるとよいこと』から『庁舎で活かせること / 解決できること』につなげていきます。どうしたら市民に新庁舎に来てもらえるかを考え、利用目的を「日常利用・年数回利用・一生に数回利用」に分けて抽出し、新庁舎に求められる本当に必要な機能を考えていきます。

